

球磨川流域復旧桥梁通信

にしき くま
錦町工区（球磨大橋）

Vol.1 令和6年1月

国土交通省 九州地方整備局
八代復興事務所

〒866-0824

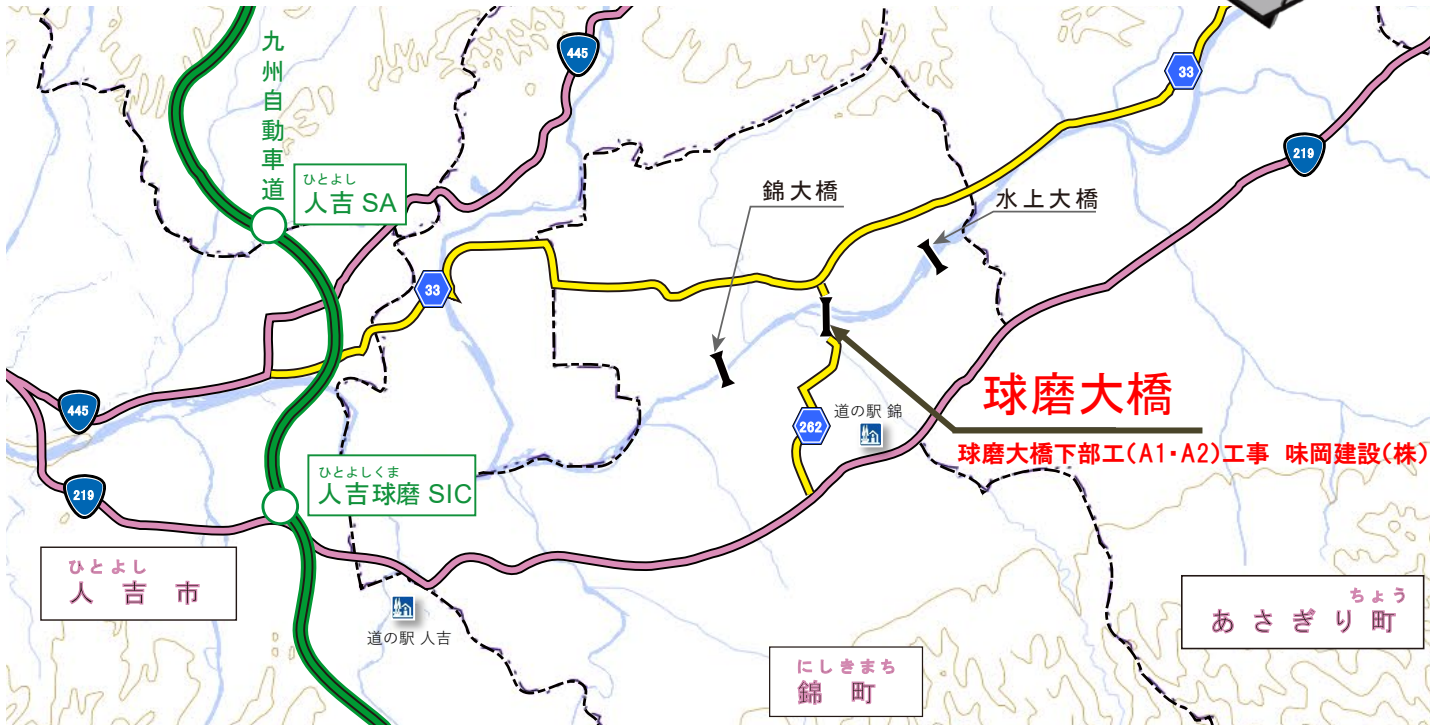
熊本県八代市上日置町4478-1

Tel: 0965-39-5101 (代表)

URL: www.qsr.mlit.go.jp/yatsushiro/

令和4年9月の台風14号に伴う大雨で被災した球磨大橋については、熊本県からの要請を受け、国による権限代行により復旧事業を行うこととなりました。

復旧期間中は、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどをよろしくお願い致します。



トピックス

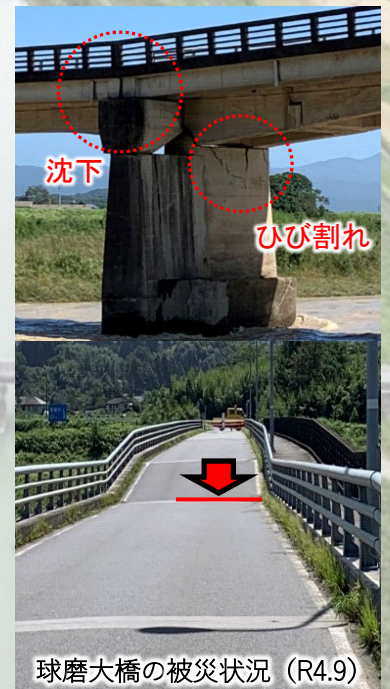
球磨大橋の工事に着手します！

令和4年の台風14号に伴う大雨により
損傷被災した球磨大橋の復旧工事の
「着工式」を2月4日(日)に開催します。



完成イメージ

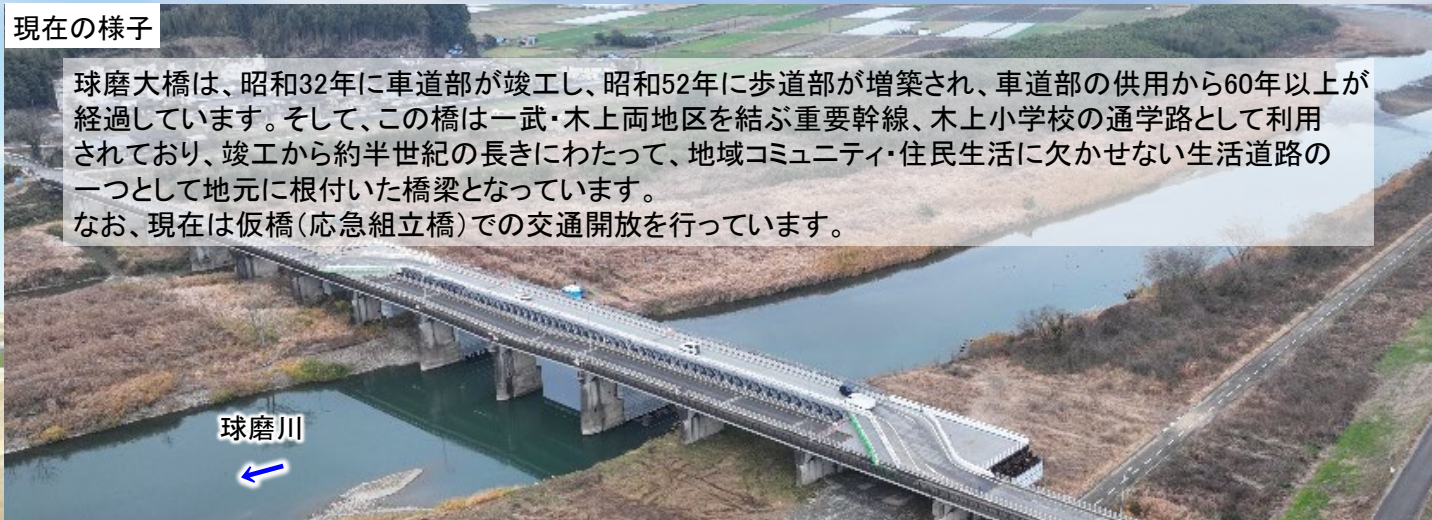
※色彩等については今後、関係者と協議の上決定します。



球磨大橋について

現在の様子

球磨大橋は、昭和32年に車道部が竣工し、昭和52年に歩道部が増築され、車道部の供用から60年以上が経過しています。そして、この橋は一武・木上両地区を結ぶ重要幹線、木上小学校の通学路として利用されており、竣工から約半世紀の長きにわたって、地域コミュニティ・住民生活に欠かせない生活道路の一つとして地元根付いた橋梁となっています。
なお、現在は仮橋（応急組立橋）での交通開放を行っています。



球磨川

復旧後の橋の位置

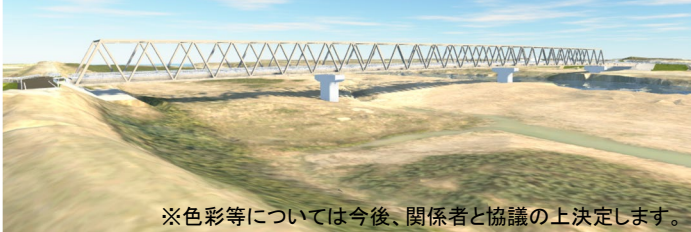


球磨大橋の復旧位置

現橋位置の直近上流側（約40m）で復旧

完成イメージ

橋種：鋼3径間連続トラス橋・鋼単純鋼床版箱桁橋
橋長：約340m



※色彩等については今後、関係者と協議の上決定します。

施工業者紹介

球磨大橋下部工（A1・A2）工事 味岡建設（株）

当社は球磨郡多良木町に本社を置き、人吉、球磨及び県内各地へと事業展開し創立60周年を迎えました。お客様に長く満足感を与えることができる『土木・建築・舗装・生コン・砕石』のモノづくりを心掛け、対話を中心とした総合建設業展開しています。人吉・球磨の建設業として球磨大橋の復旧に携われる事を誇りに思い、発注者、地域住民の方が満足して頂ける製品が提供できる様、グループ一丸となり施工していきます。



球磨大橋予備・詳細設計（株）オリエンタルコンサルタンツ

我々は、社会価値創造企業として、未来を切り開く技術革新へチャレンジし続け、球磨川災害復興事業のスローガンの「創造的復興」に貢献します。架け替えによって蘇る「球磨大橋」が、錦町における新たなシンボル・ランドマークとなり、これから先100年、地域の皆様に愛される橋梁となるよう、「100年橋梁のDesign」を合言葉に集結した設計メンバーがワンチームとなり、「技術と情熱」で復興事業に貢献します。



球磨大橋地質調査解析検討業務 日鉄鉱コンサルタント（株）

弊社は総合建設コンサルタント業として、令和2年7月豪雨の災害復旧事業に携わってきました。これからも、国民の財産であるインフラ整備に、技術力と品質、自然との融合をモットーに誠意を持って貢献します。球磨川の地質は多種多様で変化に富み、非常に複雑である特徴を持っています。そのような球磨川の地質特性を解明し、災害に強い安心・安全な橋梁復旧の一翼を担えるよう責任を持って取り組んでいきます。



球磨大橋地質調査業務（株）建設プロジェクトセンター

山岳高速道路の調査・計画・設計等を皮切りに、橋梁・河川・砂防・道路・地すべり・地質調査等の他、地震・豪雨災害で被災した道・川・石橋（文化財）の解体復元などの社会インフラの整備・維持に総合コンサルタントとして、幅広く携わっています。古きを学んで新しきを創る＝学而創新を、ものづくりの原点と考え、人・物・そして心まで通い合う道・川・地域づくりを通じ、土木技術による社会貢献を目指しております。道や川の普遍的価値だけでなく、地形の成り立ち、地域の神話や伝説、地名、住民の生業などを知り、地域特性を生かしたインフラ整備・維持に取り組んでまいります。

